

## 令和2年度 第2回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録

### 会議の概要

<b>開催日時</b>	令和2年7月17日（金）13時30分から14時50分まで	
<b>開催場所</b>	多摩区役所 11F 1101 会議室	
<b>出席者の氏名</b>	<b>委 員</b>	<p>有北いくこ（多摩区子ども総合支援連絡協議会）</p> <p>井上亜紀子（多摩区地域自立支援協議会）</p> <p>内田由美子（多摩区社会福祉協議会地域課）</p> <p>大澤敏夫（菅地区社会福祉協議会）</p> <p>大津努（稲田地区社会福祉協議会）</p> <p>岡本次郎（多摩区老人クラブ連合会）</p> <p>和秀俊（田園調布学園大学）</p> <p>木澤静雄（登戸地区社会福祉協議会）</p> <p>岸忠宏（多摩区医師会）</p>
	<b>多摩区地域包括ケアシステム推進本部幹事会・多摩区支え合いのまちづくり推進会議 事務局</b>	<p>小林由紀（地域包括支援センター（しゅくがわら））</p> <p>近藤充紀（多摩区民生委員児童委員協議会）</p> <p>古谷欣治（中野島地区社会福祉協議会）</p> <p>山口正芳（区長推薦）</p> <p>吉田輝久（多摩区町会連合会）</p> <p>吉田稔（多摩区商店街連合会）</p>
		<p>萩原圭一（多摩区長）</p> <p>堀川秀幸（危機管理担当課長（代理））</p> <p>岩上雅博（総務課長）</p> <p>宮本紀昭（企画課長）</p> <p>吉澤明充（地域振興課長）</p> <p>齊藤誠（生涯学習支援課長）</p> <p>本田孝一（区民課長）</p> <p>村田俊一（生田出張所長）</p> <p>徳永のり子（児童家庭課長）</p> <p>森田博志（高齢・障害課長）</p> <p>岩崎美穂（保護課長）</p> <p>石原知子（保育所等・地域連携担当課長）</p> <p>小川幸（学校・地域連携担当課長）</p> <p>渡邊光次郎（道路公園センター整備課担当課長）</p>
<b>欠席委員</b>	<p>青木義明（多摩区食生活改善推進員連絡協議会）</p> <p>清川享二（生田地区社会福祉協議会）</p> <p>田村弘志（多摩区社会福祉協議会）</p>	

<b>議 事</b>	<p>(1) 第5期計画の振り返り/第6期多摩区地域福祉計画策定の骨子について</p> <p>(2) 第6期多摩区地域福祉計画 基本目標・基本方針 重点的な取組/ 第6期計画の具体的な取組について</p> <p>(3) 意見交換</p> <p>(4) その他</p>
<b>傍聴人の数</b>	なし
<b>配付資料</b>	<p>[配布資料]</p> <p>資料1…名簿</p> <p>資料2…多摩区支え合いのまちづくり推進会議運営要綱</p> <p>資料3…令和2年度 第1回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録</p> <p>資料4…第5期計画の振り返り (案)</p> <p>資料5…第6期多摩区地域福祉計画策定の骨子 (案)</p> <p>資料6…第6期多摩区地域福祉計画 基本目標・基本方針 重点的な取組について (案)</p> <p>資料7…第6期多摩区地域福祉計画事業一覧 (案)</p> <p>資料8…意見集約シート</p> <p>冊子資料…第5期多摩区地域福祉計画 第5回川崎市地域福祉実態調査 概要版 第5回川崎市地域福祉実態調査 (令和元年度調査) 結果概要 多摩区版</p>

## 議事要旨

発言者	発言要旨
事務局（瀧課長）	次第1（開会）
	（コロナ対策の連絡・会議録作成のため録音の承認）
荻原区長	次第2（あいさつ）
事務局（瀧課長）	次第3（座長選出） →和座長
	・配布資料の確認
和座長	<p>前回に続きまして、座長を務めさせていただきます。</p> <p>先ほど、区長からも説明がありましたが、新型コロナウイルスの影響により、with コロナでどうやって地域福祉を進めていくかということについて、本日もいろいろなご意見をいただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議事（1）第5期計画の振り返り、第6期多摩区地域福祉計画策定の骨子について、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（青柳）	次第4（議事）
	（1）第5期計画の振り返り、第6期多摩区地域福祉計画策定の骨子について 資料4、資料5の説明
和座長	<p>ご質問、ご意見がありましたら、お願いします。</p> <p>資料8が、事前に委員の皆さま方からいただいたご意見を集約したものです。そちらもお目通しいただきながら質疑応答していただき、最後に意見交換したいと思いますが、今の段階で何かご質問等がございましたらお願いします。</p> <p>ないようですので、議事（2）第6期多摩区地域福祉計画、基本目標、基本方針、重点的な取り組み、第6期計画の具体的な取り組みについて、事務局より説明をお願いします。</p>
事務局（青柳）	次第4（議事）
	（2）第6期多摩区地域福祉計画、基本目標、基本方針、重点的な取組 第6期計画の具体的な取組について 資料6、資料7の説明
和座長	次第4（議事） （3）意見交換
	<p>ありがとうございました。資料6と資料7、合わせてご説明をいただきました。資料8もお手元にご用意いただいて、議事（3）の意見交換に移らせていただきたいと思います。</p> <p>まず、資料8の2番のご意見について、基本目標1「多様な主体が参加する地域づくり」の中の「多様な主体」という言葉の意味するところが分かりづらいというご意見を承っています。例えば「区民一人一人が」とか、「あなたも私も」というように、身近な言葉ではどうかという提案もしていただきましたが、いかがでしょうか。</p>

発言者	発言要旨
有北委員	<p>有北です。多様な主体というのは、私たちは分かりますが、一般区民の方にとっては少し違和感のある言葉かなという気がしています。多様な主体と言われた途端に、自分とは関係のない他人事のような気がしてしまう。自分も含まれていると感じられる言葉に変えたほうが、訴えかける力が強いのではないかと思い、この意見を出しました。</p>
和座長	<p>ありがとうございます。確かに「多様な主体」と言われた瞬間に、なにか自分から離れたところに意識がいく感じがあります。多様な主体の中に自分も入っている、地域福祉は我が事、丸ごとですから、我が事として捉えるという視点で考えると、確かに自分も含まれていると感じられる言葉にしたほうが良いような気がします。皆様いかがでしょうか、ご意見がございましたらお願いします。</p> <p>この場は何かを決定する場所ではないので、皆さんご意見を頂戴したいと思っておりますが、いかがでしょうか。</p> <p>特に異論がなければ、有北委員からのご提案ということで、自分自身も含まれるような、「区民一人一人が」とか、「あなたも私も」というように、自分も含まれると感じられる言葉を検討していただきたいと思います。ご提案ありがとうございました。</p> <p>その他のご意見ですが、基本目標3「見守り・支え合いのネットワークづくり」について、資料8の10番「基本目標3の基本方針に以下の2点を方針3、4として加えたらどうか」というご提案をいただきました。1点目が「区民自身のネットワークづくり」、2点目が「地域の団体間のネットワークづくり」というご提案です。</p> <p>「区民自身のネットワークづくり」については、冒頭に、「withコロナでどうやって地域福祉を進めていくかを考えていかななくてはならない」という話をさせていただきましたが、一人一人がどうネットワークをつくっていくかということが、今後の地域福祉で大事だと感じました。</p> <p>「地域の団体間のネットワークづくり」については、資料8の12番、14番のご意見にも関わってくるというふうに考えています。地域団体のネットワークもさることながら、12番、14番にあるように、市民館、こども文化センター、いこいの家などのような、公的な地域の施設というか活動というものと、地域の民間の団体がどうつながっていくかというのが大事になってくると思いますので、12番、14番のご意見も含めて、皆さま方からご意見がございましたらよろしく願いいたします。</p> <p>この12番、14番に関連して、市民館の活動として、このような地域とのネットワークづくりというのが可能かどうかということについて、行政から、ご説明いただくことは可能でしょうか。</p>
企画課長（宮本）	<p>区役所企画課の宮本と申します。資料8の14番に関して説明申し上げます。「地域にはこども文化センターやいこいの家などの区民が集う場所がある。そこ</p>

発言者	発言要旨
	<p>で学習機会や交流の機会を持って、身近な場での普及を考えたらどうか。」ということですが、これに関しまして、昨年度中にこれからのコミュニティー施策の基本的な考え方ということで、まちの広場、地域の居場所やまちの広場の創出に向けて、公共施設の地域化、こういった区役所市民館、あるいはこども文化センター、いこいの家等、公共施設の地域化をしていこう、そしてまた民間資源の活用などを考えていこうというのがありましたが、その段階ではこの公共施設の地域化につきましては、具体的な内容とか手法を示しておりませんでした。そこで、その地域化について具体的な考え方を示していこうということで、今行政側で考えておまして、これをどのように進めていくかというガイドラインをまとめる作業に入っています。具体的には、どの段階でまとめられるかというのは、まだ確定はしておりませんが、市民の皆さまがそういった公共施設をどのように使えるか、またどのように開放していけるかというのを現在策定している経過でございますので、現在のところをご説明させていただきました。以上でございます。</p>
和座長	公共施設の地域化、大事ですね。ありがとうございます。
生涯学習支援課長 (齊藤)	<p>多摩市民館の齊藤と申します。市民館のほうでは、昨年度は社会教育委員会議の多摩市民館専門部会のほうで、こども文化センターとか老人いこいの家との連携・協働についてご意見をいただいたところです。主な内容としましては、こども文化センター、また老人いこいの家、地域での活動場所ということで、広く地域に開放できないか、というようなご意見と合わせまして、シニアの方の活用をそういう場所を使って広めていけないか、というご提案をいただいたところです。残念ながらコロナの関係で、なかなかそういう施設の連携も今は行われていない状況なので、新たな生活状況が落ち着いた段階で、少しずつ進めていきたいと考えております。</p>
和座長	<p>ありがとうございました。全国的に地域福祉の先進事例を見ていると、公民館活動というのがベースとなって、先駆的に取り組んでいるというのはよく見聞きしますので、この市民館の活用というのはとても重要なことというふうに思っております。</p>
事務局（倉）	<p>地域ケア推進課の倉です。資料8の13番のご意見は、恐らく基本目標1の重点的な取組に対して、いただいたご意見になるかと思えます。</p> <p>情報提供や地域活動の参加を促すことも大切だけれども、「より多くの区民に地域福祉への理解と関心を広める」ためには、学びの機会を増やしていくことも重要ではないか、市民館、図書館等との連携を考えてはどうか、というご意見ですね。</p> <p>先ほど企画課と市民館のほうから説明がありましたが、ぜひこういったところで連携をして、学びの機会を増やす取組についても検討していきたいと思えます。</p> <p>先ほど、市民館からの説明の中に、シニアの活用という話が出てまいりました</p>

発言者	発言要旨
	<p>が、資料8の17番で幾つかご意見をいただいている中で5番目（17-5）「高齢者予備軍への協力要請と教育を」というご意見がございます。シニアの活用とも連携し、次世代の担い手の育成や、少し先の未来の自分のことを考えてみる機会を作るなど、取組を結び付けていけたらいいなど、感じました。貴重なご意見ありがとうございました。</p>
山口委員	<p>山口です。資料8の17番は私が出した意見ですが、是非検討してくださいというお願いです。これまで、私も役所に関わり、ボランティアに携わってきましたので、その経験を踏まえ、こんなふうにやったらいかがですかという提案をさせてもらいました。</p> <p>（17-3） 支援者についてですが、支援を望んでいる方のリストとそれを支援する支援者のリストはできているんですが、そこで止まっているというのが現状です。誰が、どういうときに支援するのかなど、もう一歩進んだ対応や連携ができるような体制づくりをお願いしたいと思います。</p> <p>（17-6） それから地域活動への支援についてなんですけれども、何をどういうふうに支援するのかというのをより具体的に明示して欲しいと思います。団体の目標と役所の目標を連動させ支援の方向性を明示してもいいと思います。団体と役所で支援内容の共有化・目標の共有化をすることで役割も明確になり、団体も支援を受けながらどのように活動を進めるかはっきりするのではないかと思います。</p> <p>（17-7） それからもう一つ、健康・生きがいづくりについてですが、多摩区では公園体操やいきいき体操、ウォーキングをしようと進めてきましたが、だんだん尻すぼみになって、活動がなくなっているというふうに思うので、いろんな人達が参加できる体を動かすというような取組を是非検討していただきたいと思います。以上です。</p>
和座長	<p>ありがとうございました。今の山口委員からのご意見に対して何かございませうでしょうか。</p>
事務局（倉）	<p>山口委員、ありがとうございます。幾つか視点をいただきました。</p> <p>（17-3）「連携体制の一步進んだ体制を」ということで、地域での見守りについて、地域の方も含めてどういった体制でやっていくかについて、もう少し具体的に「誰が、何を、どういうふうにやるのか」という話を詰めていかななくてはいけないというご意見でよろしかったですか。</p> <p>多摩区全体でこうしようという方針の立て方もありますが、地域によって暮らしている住民の方の年齢層など、区内でも違いがあると思います。具体的な取組については区全体というよりは、もう少し小さな生活圏で考えていかななくてはならないと考えています。</p> <p>多摩区では、区を5地区に分けて、地域包括ケアシステム推進の取組をしてきましたが、第6期計画では、基本目標2「多世代交流でつながる地域づくり」の</p>

発言者	発言要旨
	<p>ところで、5地区よりも小さい圏域、小地域の中で、住民の方々とお話をしながら、「連携体制の一步進んだ体制」について、具体的に検討していきたいと考えております。</p> <p>山口委員からは、(17-4)番のところで、「もっと町会、自治会の活用を」というご意見もいただいております。町内会・自治会を窓口として、小地域での支え合い活動を推進していくというパターンもありますし、地域によっては、関係団体が集まり、町内会・自治会もその中のメンバーとして取り組みを推進していくというようなパターンもあろうかと思えます。第6期の基本目標2の重点的な取組でもあります。住民の皆様と一緒に進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。</p> <p>(17-6) また、地域活動への支援についてですが、資料8の5番のご意見「地域活動は世代交代、資金調達の課題を抱え続けている。具体的な例がほしい」も同じ趣旨のご意見と理解しています。</p> <p>山口委員がおっしゃるように、それぞれの活動団体と対話をしながら進めていくというのが、第一のスタンスと考えております。資金の支援については、ちょっと難しいのかなと思えますが、皆さまが求める情報の提供であったり、人材の育成の部分であったり、具体的な支援につきましては、地域活動を行っている皆さんとお話ししながら検討していきます。</p> <p>(17-7) 健康・生きがいがづくりについては、第6期では基本目標・基本方針といった計画の骨子の部分には、言葉としては残っていませんが、皆さんが健康でいきいきと暮らしていくというのは変わらずベースであり目標になると思えます。地域包括ケアシステム普及啓発・地域活動情報の発信について、第6期では力を入れ、健康・生きがいがづくりについても、自助・互助の取組として、自分に関係があるな、これだったら取り組めるなと感じられるような具体的な情報を伝えていきたいと考えています。地域支援課から補足があればお願いします。</p>
事務局（高橋課長）	<p>地域支援課の高橋です。山口委員、ご意見ありがとうございます。前段の各団体への支援等につきましては、地域ケア推進課からも申し上げたとおり、よく対話をさせていただいて、連携をさせていただければと思います。健康づくりに関しては、資料7の1枚目の5番、「健康づくりのための情報発信、講座」でまとめさせていただいています。内容としては、生活習慣病の予防や、フレイルという虚弱の方への支援、介護予防などでは、例えば1階のアトリウムで禁煙週間や肝臓の週間、女性の健康をテーマにパネル展示をするなど、いろいろ工夫しながら啓発する取組を考えております。</p> <p>それぞれの地域での介護予防の普及啓発などもそこに含め健康づくりを小さくというよりは少しまとめて一つにさせていただいたという形を取らせていただいております。</p>

発言者	発言要旨
和座長	<p>山口委員、よろしいでしょうか。いろいろと具体的なお話をいただきましたが、資料8（17-5）番の「新しい活動の担い手としての養成」、資料8の5番「地域活動の世代交代」というご意見に関連して、私の卑近な例になりますが、私は町会で防犯副部長をやらせていただいています、そうしたら部長の方が体調不良で倒れられてしまったので、急に部長をやることになりました。本日の資料7の8番と18番の事業に関連しますが、これだけ災害が多い中、すぐに体制を整えないといけないという状況で、防災訓練を秋にやるということも計画されましたので、資料7の8番や18番のような行政の事業、防災対策啓発事業や防災キャンプというような事業があると、とても助かると思っています。</p> <p>多摩区だけではないと思いますが、災害への対応が課題となっている地域で、行政のこのような取り組みは、次世代の担い手にとって安心にもつながりますし、次世代も担い手になることから逃げないと思います。私は仕事柄、町内会・自治会が生きていく上で大事だと思っているので、活動をやるのが当たり前だと思ってやっていますけれども、そうじゃない方がやはり若い世代には多いと思うので、私のように急に自主防災組織の長になってしまい、じゃあどうしようとなったときに、情報の共有化というところで、情報がすぐ分かる、取り出せるかたちになっているとありがたいと正直思います。</p> <p>大学でオンラインの動画を使った授業をやっているのですが、NHKの地域づくりアーカイブスというものがあります。それを見ると、町内会の活動とか地域活動はこんなことをやって、福祉の課題にこう取り組んでいるというのが、数分間の動画ですごく分かりやすくなっています。地域包括ケアシステムの啓発活動、情報共有・情報発信の取組に関して、簡単な動画等を自分達で作るとなると結構大変だと思いますが、既存の動画をうまく活用すると、自分の町内会の活動で参考にしてやってみようとか、自分にお鉢が回ってきたときに、こういうふうに町内会は活動しているのだとか、こういう地域の課題に取り組んでいるのだとかというのが誰でも分かるようなかたちで共有できて、なおかつこの資料7のような行政が行っている事業の内容も合わせて分かりやすくなっていると、次世代の担い手の安心につながり、一歩踏み出しやすくなるというふうに思いました。</p> <p>地域福祉計画の部分だけ取ってみると非常に抽象的に思えますが、計画としては大枠をしっかり作った上で、具体的な活動が分かるようなコンテンツ、つまりその計画のホームページ等にアクセスするともっと具体的に分かります、というような仕掛けがあったりするといいいのかなというふうに思います。</p> <p>資料8の9番のご意見の中に、「(計画の進め方について) 具体的なチャートを示すと分かりやすい」とありましたが、地域福祉計画となると具体的なチャートまでは落とし込めきれない部分があるので、具体的な取組については、ここにアクセスすると分かりますというようなもの、コンテンツを担当部署で用意しておくというのが大事かもしれないなというふうに思いました。</p>

発言者	発言要旨
	<p>まだお時間はありますが、その他ご意見はございますか。</p>
<p>内田委員</p>	<p>社会福祉協議会の内田です。九州で今、豪雨災害があり、ボランティアさんたちが全国から集まれず、熊本県内だけでという限定でボランティアセンターのほうも運営をしている状況です。熊本地震の際には、私たちも熊本のほうに行きましたが、今回はコロナの関係でお手伝いに行くことができないし、ボランティアの皆さんにも来てくださいと言えない現状があります。</p> <p>そういったことを考えますと、ちょうど災害のことも書いてありましたけれども、何かがあったときに、すぐに全国の誰かが何とかしてくれるのではなくて、やはり自分と自分の地域のことは自分たちで守らないといけないという意識、身近でできることは自分たちでやっていかなきゃいけないという気持ちを育てるということを、区役所で作る地域福祉計画や社会福祉協議会で作る地域福祉活動計画の中でもしていかなければいけないのかなと感じています。</p> <p>具体的な内容を計画に載せられるような段階ではないとしても、みんなでまず考えていきましょう、気持ちを育てていきましょう、どのようなものだったらみんな具体的に分かりやすいのですかという、皆さんで話し合っ作っていきましょう、という土壌づくりについて計画に載せられたらいいのかなというふうに思いました。</p>
<p>和座長</p>	<p>具体的なテーマの中でみんなで話し合える場づくりは本当に必要、大事ななど思います。ありがとうございました。</p> <p>それでは議事（４）その他について、何かございますでしょうか。</p> <p>特にないようですので、以上をもちまして議事は終了します。それでは進行を事務局へお返しします。</p>
<p>事務局（瀧課長）</p>	<p>和座長議事の進行ありがとうございました。委員の皆様もご意見ありがとうございました。</p> <p>最後に閉会にあたりまして、地域みまもり支援センター所長の加藤からご挨拶申し上げます。</p>
<p>地域みまもり支援センター所長（加藤）</p>	<p style="text-align: center;">次第５（閉会）</p> <hr/> <p style="text-align: center;">あいさつ</p>